

“つづける”ということ

～課題に応じた人材確保～



日野郡鳥獣被害対策協議会
実施隊チーフ 木下卓也

自己紹介…

1

1980年	大阪北部の田園が残った地域で生まれる。
2002年	大阪の医療系専門学校を卒業。 「作業療法士」となる。
2002～2009年	「地域リハビリテーション」を中心に活動。 診療所、クリニック、福祉施設などで働き、 福祉用具の営業も経験。
2009～2013年	医療系大学の助手。
2014～2016年	地域おこし協力隊として 実施隊チーフに任命される。
2017年～現在	地域おこし協力隊終了後、 3町雇用で実施隊チーフを続投。



山が好き！野生動物が好き！というような
自然大好きアウトドア人間！ではありません。



鳥取県 日野郡(2020年)

	人口 (人)	高齢化率 (%)	林野面積 割合 (%)
日南町	4,192	52.1	89.25
日野町	2,906	50.1	89.01
江府町	2,712	48.6	81.18
合 計	9,810	50.6	87.52
鳥取県	551,300	32.0	73.79

(出典：日野郡の現状～令和2年版～「令和1年10月現在」)

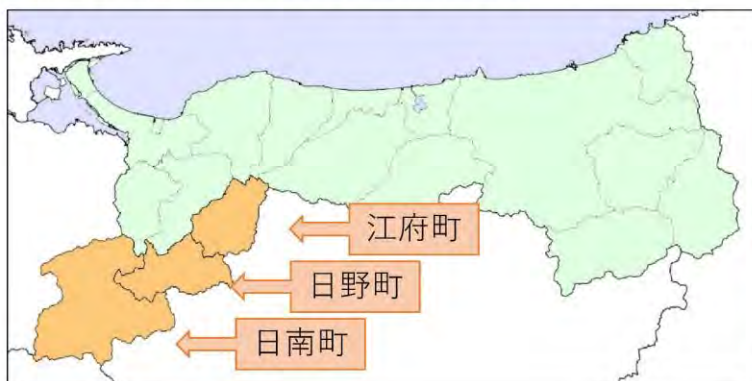
「日本の30年先の姿」

進む過疎・高齢化

高齢者の高齢化も問題…

もちろん空き家問題や

諸般の担い手不足問題も…



日野郡鳥獣被害対策協議会 設立の経緯

2010年7月23日 「鳥取県日野地区連携・共同協議会」設置

単独行政を選択した日野郡3町と県が連携・共同し、行政サービスの維持・向上や効率的な行政運営の促進と共通する諸課題の解決に取り組むことを目的に地方自治法に基づき設置

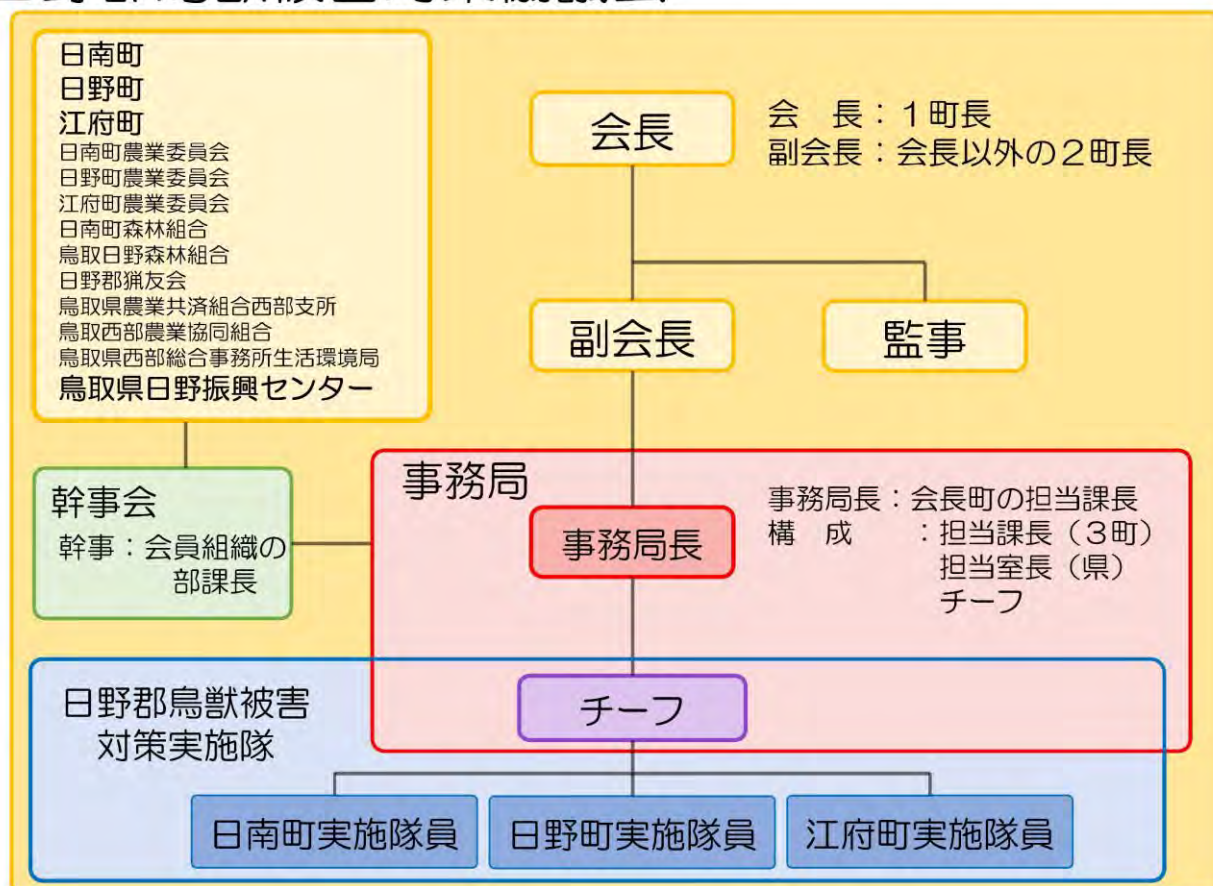
2012年2月28日 「農業分野等専門部会」の立上げ

平成23年度第2回連携協議会の承認に基づき、農業分野での連携、共同に関する検討チームを立上げ、鳥獣被害対策の共同化を検討開始。検討事項：鳥獣被害対策(イノシシ)・農地利用促進

2013年12月3日 「日野郡鳥獣被害対策協議会」設立

「鳥取県日野地区連携・共同協議会」で「日野郡鳥獣被害対策協議会」の設立を決定。2014年に実施隊の設立を決定。

日野郡鳥獣被害対策協議会



実施隊の活動(2020年度)

組織運営	国庫交付金（ソフト事業）・3町負担金の予算・会計・決算は実施隊が実施。鳥獣被害防止計画の立案、議会答弁内容の検討など、シンクタンクの役割
被害相談	被害地の確認、加害獣・侵入経路の特定、対策の相談と指導
普及・啓発	侵入防止柵に係る計画前研修会、施工研修会 煙火消費保安講習会の開催
実証実験	遠隔監視捕獲システム自作版（トットルキャリア）の製作 楽落くん試験設置
調査	センサーカメラによる山林内の定点観測
捕獲	※原則、捕獲は行わない 有害捕獲員がいない地域での捕獲檻設置 中型獣の捕獲檻設置 新規有害捕獲員へのセンサーカメラ等の貸与と指導
錯誤捕獲対応	ツキノワグマ錯誤捕獲時の確認、現場確保

日野郡鳥獣被害対策実施隊の構成(2020年度)

区分	雇用	身分
チーフ	日南町 日野町 江府町	嘱託職員 ※日南町農林課所属 ※3年目まで日南町地域おこし協力隊 ※大阪府出身
隊員	日南町	募集中
隊員	日野町	募集中
隊員	江府町	嘱託職員 ※江府町農林産業課所属 ※3年目まで江府町臨時職員 ※江府町出身

※現在は募集終了しています。

日野郡鳥獣被害対策実施隊員の変遷

8

第1期

2014													2015												2016													
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A			
B	B	B	B	B	B	B					B							E	E	E	E	E	E															
C	C	C	C	C	C	C					C	C	C	C	C	C	C	C					C	C	C	C	C	C	C	C	C				C			
D	D	D	D	D	D	D					D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D			

第2期

2017													2018												2019														
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A				
F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F				H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H				
G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G	G				
D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D				

第3期

2020												
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A	A
H												
D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D	D

7年間で、隊員4名が揃っていた期間は、半分に満たない。

原因は？ ①体制の不備、②マッチング問題

第1期の体制不備の問題は、2017年のサミットでお話したので、第2期からの話を中心に進めます。

2014

2015

2016

目標：「鳥獣被害対策＝捕獲」の打破！

目標：侵入防止柵の適切な使用

ジビエは「地域振興」！
鳥獣被害対策には含まない！

隊員の育成

P.10

・事前研修 ・現地測量 ・施工研修

P.11

啓発活動の充実

P.12

噂：中型獣による被害増加

被害の情報収集

家庭菜園での被害が増加

中型獣の捕獲

噂：ニホンジカ増加？

センサーカメラによる定点撮影

P.20

シカの撮影数増加、複数頭を撮影、クマも…。
しかし、県・町に危機感なし！
説得力のある資料が欲しい！
より専門性のある隊員が欲しい！

実施隊員の育成

1. 動物の生態の学習

- ・加害動物の生態学習
- ・痕跡判別の実地研修

2. 鳥獣被害対策の学習

- ・被害対策の基本
- ・先進事例

3. 被害場所の確認

- ・加害獣判別
- ・侵入経路の特定
- ・机上と現場の照合
- ・被害パターンの蓄積
- ・被害映像の蓄積

4. 捕獲技術の修得

- ・狩猟免許取得
- ・銃所持許可の取得
- ・実地研修



鳥獣被害対策を根付かせるためには、**人材育成が不可欠！**

被害対策の指導（侵入防止柵設置指導）

基本研修会 みんなで学んで、「あきらめ」を払拭する！



現地測量 みんなで歩いて、考える！



施工指導 みんなで汗かき、作業する！





生涯学習教室



JAセミナー



町報・ブログ



黒坂小学校



子ども教室



老人会

実施隊が培った経験や知識を、**簡単な言葉で住民の経験に即した例え**を使って、広く知ってもらおう。

合言葉は「1人以上集まったらどこでも話します！」

「地域おこし協力隊」マッチング問題

募集側のタイプ

特定課題

複数課題

自由課題

町の補助



応募者のタイプ

起業

半農半X

とりあえず移住

業務に興味

町の課題と卒業後の構想から逆算して
募集要項の作成、応募者の選考が必要！